

平成25年度 特別推進研究 審査の所見

研究課題名	シナプスにおける逆行性シグナルが生後発達期の機能的神経回路形成に果たす役割の解明
研究代表者	狩野 方伸
審査の所見	<p>脳の機能が正常に発達するためには未分化の状態で存在する余剰のシナプス結合が整合性を持って刈り込み除去されなければならない。本研究は、その刈り込み除去のメカニズムについて、応募者らが独自に開発した「小脳と下オリーブ核の共培養」という <i>in vitro</i> モデルを駆使することにより解明しようとするものである。</p> <p>応募者らはシナプス伝達における逆行性シグナルの生理機能の解明で、世界最先端の研究を継続して行っており、その評価は極めて高い。</p> <p>本研究の実施により世界に誇る独創的成果が期待できることから、特別推進研究として採択すべき課題であると判断した。</p>